

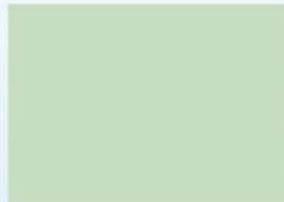


2008年3月期中間決算説明会

2007年11月15日

証券コード 5017 AOCホールディングス株式会社

代表取締役社長
関屋 文雄

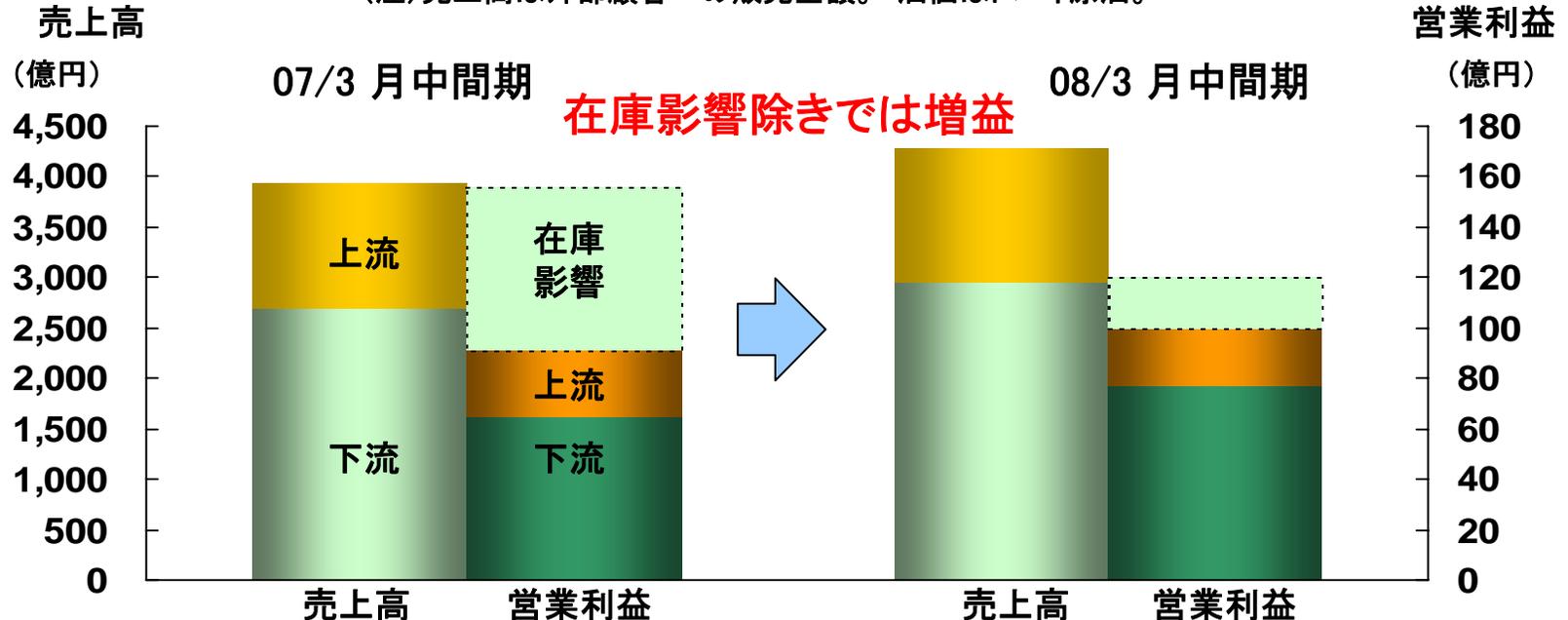


08/3月期 中間連結決算の概要

実質営業利益(除在庫影響)は増加

(億円)	08/3月期中間 \$67.4/Bbl ¥119/\$			07/3月期中間 \$65.4/Bbl ¥115/\$			増減額 \$2.0/Bbl ¥4/\$		
	上流	下流	計	上流	下流	計	上流	下流	計(増減率)
売上高	1,334	2,943	4,278	1,249	2,691	3,941	84	252	336(9%)
営業利益 除在庫影響	23	97	120	26	130	157	△3	△33	△36(△24%)
		77	100		65	92		12	8(9%)
経常利益	23	100	124	26	142	169	△3	△41	△45(△27%)
当期利益	10	61	72	29	97	127	△19	△35	△55(△43%)

(注)売上高は外部顧客への販売金額。油価はドバイ原油。



セグメント別売上高/営業利益

内部取引 消去後 (億円)	08/3月期中間			07/3月期中間			増 減		
	カフジ 関連	石油・ガス 開発/ 生産	石油 精製/ 販売	カフジ 関連	石油・ガス 開発/ 生産	石油 精製/ 販売	カフジ 関連	石油・ガス 開発/ 生産	石油 精製/ 販売
売上高	1,288	45	2,943	1,199	50	2,691	89	△5	252
営業利益	0	23	97	△3	29	130	3	△6	△32

売上高/営業利益増減分析:

	増加要因	減少要因
売上高		
カフジ関連	油価上昇 +4% 円安	販売数量減少 △4%
石油・天然ガス/開発関連	円安	販売価格の低下 生産量減退
石油精製/販売	販売数量増 +7% 単価上昇 +5%	
営業利益		
カフジ関連	原油販売条件の好転 +3億円	
石油・天然ガス/開発関連		販売価格の低下 △4億円 操業費増加 △3億円 生産量減退
石油精製/販売	化成品のマージン拡大 +21億円	在庫影響 △45億円(65→20億円) 固定資産5%償却相当 △8億円

営業外損益

営業外損益明細

(百万円)	08/3月期 中間	07/3月期 中間	増減
営業外収益	4,509	4,060	449
受取利息・配当金	2,210	1,349	861
持分法投資利益	454	971	△517
為替差益	1,354	1,295	59
その他	488	443	45
営業外費用	4,107	2,838	1,270
支払利息	3,591	2,458	1,133
その他	515	378	137

持分法投資利益の内訳

(百万円)	08/3月期 中間	07/3月期 中間	増減
Aramo Shipping	459	914	△454
その他	△4	56	△61

原油販売量／販売価格

	販売量(千バーレル/日)			販売価格(\$/バーレル)	
	08/3月期 中間	07/3月期 中間	増減率 (%)	08/3月期 中間	07/3月期 中間
クウェイトとの売買契約による販売原油	95.3	99.4	△4.1		
カフジ原油	90.3	94.7	△4.6	62.91	60.15
フート原油	5.0	4.7	6.3	67.44	65.87
権益原油	3.5	3.7	△5.4		
南海ミディアム原油 (中国南シナ海) *	3.0	3.1	△1.2	62.95	66.03
エコフィスク原油 (ノルウェー領北海) *	0.5	0.6	△22.8	62.83	65.25
合 計	98.8	103.1	△4.1	—	—

(* は 1-6月)

減少要因

- カフジ原油 ・9月出荷予定分の10月ずれ込み
- エコフィスク原油 ・集油センターの定修

石油製品販売量

(千KL)

	08/3月期中間	07/3月期中間	増減率(%)
揮発油	912	942	△3.2
ナフサ	234	246	△4.8
ジェット	632	543	16.3
灯油	50	86	△42.0
軽油	769	615	25.1
A重油	102	176	△42.1
C重油 (内電力向け)	584 (449)	410 (213)	42.4 (110.3)
ベンゼン	81	80	1.0
キシレン	158	154	2.3
その他	288	275	4.8
小計	3,810	3,527	8.0
ジョイント・バーター	571	542	5.3
合計	4,380	4,068	7.7
内、輸出量(除バンカー)	191	-	-
原油処理量	3,947	3,677	7.3

連結貸借対照表の主な増減項目

	07/9月末	07/3月末	増減額	主な増減要因 (億円)
流動資産	2,323	2,057	266	棚卸資産 +224
固定資産	1,988	1,797	190	
有形固定資産	1,058	1,050	8	
投資その他の資産	915	729	186	KGOC貸付等 +184
資産合計	4,311	3,854	457	
流動負債	1,762	1,514	248	油価上昇に伴う運転資金増 +206
固定負債	1,047	906	140	長期借入金純増 +138
負債合計	2,810	2,421	388	
純資産合計	1,501	1,432	69	中間利益 +72 配当 △11
負債純資産合計	4,311	3,854	457	

KGOC(Kuwait Gulf Oil Company) : クウェイトとの技術サービス契約および融資契約の相手先

自己資本比率 34% **DEレシオ 0.6** (除 KGOC貸付見合いの借入)

連結キャッシュフローの状況

(億円)

	08/3月期中間	07/3月期中間	08/3月期中間説明
営業活動によるCF	△76	77	税前利益 +122 減価償却費 31 棚卸資産増加 △224 法人税支払 △30
投資活動によるCF	△229	△251	有形固定資産取得 △32 KGOC貸付 等 △202
財務活動によるCF	334	223	短借純増 +206 長借純増 +140 配当 △11
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△1	
現金及び現金同等物の増減	29	48	
現金及び現金同等物の期首残高	257	310	
非連結子会社合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	-	
現金及び現金同等物の期末残高	287	358	

08/3月期 下期事業環境・事業計画の概要

▶ 事業環境

- ・ 原油価格は堅調な需要と産油国の地政学リスクを背景に一定の高値圏で推移するが調整局面等不透明要因も
- ・ 原油重軽格差は現行水準で推移
- ・ 国内石油製品需要の減退および構造の変化
- ・ 化成品のマージンは縮小

▶ 事業計画

上流事業

- ・ クウェイトとの技術サービス契約の更新の実現
- ・ 原油販売計画：102千バレル/日(通期)
- ・ エジプトにおける2案件の推進
- ・ 新規上流案件の発掘・事業化を推進

下流事業

- ・ 袖ヶ浦製油所の高稼働操業の維持
- ・ 石油製品販売計画：8,233千KL(通期)
- ・ 第2流動接触分解装置(FCC)の完工/ユリカ装置増強に着手

見通しの前提(通期)

- ◆ 原油価格：ドバイ原油
\$ 65/bbl
- ◆ 重軽格差 AL-AH：\$ 5/bbl
- ◆ 為替レート：120円/\$

08/3月期 通期原油・石油製品販売量

原油 (千B/D)

	08/3期	07/3期	増減率(%)
カフジ原油 (売買契約)	94.4	95.2	△1.2
フート原油 (売買契約)	5.0	5.0	0.0
南海ミディアム原油 (権益原油)	2.2	3.1	△31.0
エコフィスク原油 (権益原油)	0.5	0.6	△6.4
原油計	102.1	103.9	△1.7

(注) 南海ミディアム原油は貯蔵・出荷施設の定期検査により2ヶ月間生産停止

石油製品 (千KL)

揮発油	1,838	1,888	△2.8
ナフサ	444	489	△ 9.3
中間留分	3,458	3,315	4.3
C重油 (内電力向け)	751 (585)	726 (438)	3.5 (33.8)
ベンゼン・キシレン	479	464	3.2
その他	557	557	0.0
小 計	7,528	7,439	1.2
ジョイント・パーター	706	1,299	△45.7
石油製品 計	8,233	8,738	△5.8
内、輸出量 (除バンカー)	501	132	158.4
原油処理量	7,636	7,540	1.2

08/3月期 通期連結業績見通し

単位:億円

	08/3月期 \$65.0/Bbl ¥120/\$			07/3月期 \$60.8/Bbl ¥117/\$			増減額 +\$4.2/Bbl ¥3/\$		
	上流	下流	計	上流	下流	計	上流	下流	計(増減率)
売上高	2,600	5,640	8,240	2,378	5,631	8,010	221	8	229(3%)
営業利益 除在庫影響	5	160	165	59	196	256	△54	△36	△91(△36%)
		132	137		134	194		△1	△56(△28%)
経常利益	4	146	150	63	210	274	△59	△64	△124(△45%)
当期利益	△0	80	80	47	142	189	△47	△62	△109(△58%)

セグメント別 明細 (内部取引 消去後)	08/3月期			07/3月期			増減		
	カジ 関連	石油・ガス 開発/ 生産	石油 精製/ 販売	カジ 関連	石油・ガス 開発/ 生産	石油 精製/ 販売	カジ 関連	石油・ガス 開発/ 生産	石油 精製/ 販売
売上高	2,529	74	5,636	2,275	103	5,631	254	△28	4
営業利益	△1	6	159	△1	61	196	0	△54	△37

営業利益の増減要因	上流	下流
増加要因	原油価格の上昇	化成品のマージン拡大 24億円
減少要因	中国南シナ海貯蔵・出荷施設定期検査等 △34億円 探鉱費 △18億円	石油製品のマージン縮小 △24億円 在庫影響 △35億円(62→27億円)

(注) 売上高は外部顧客への販売金額。油価はドバイ原油。



2007年～2009年度中期事業計画進捗状況



中期事業計画策定の基本方針

(06年11月策定)

事業環境

- ・原油価格、石油製品価格は高値圏で推移

基本事業戦略

- ・「収益基盤の安定化」、「積極的な投資活動」、「健全な財務体質の維持」

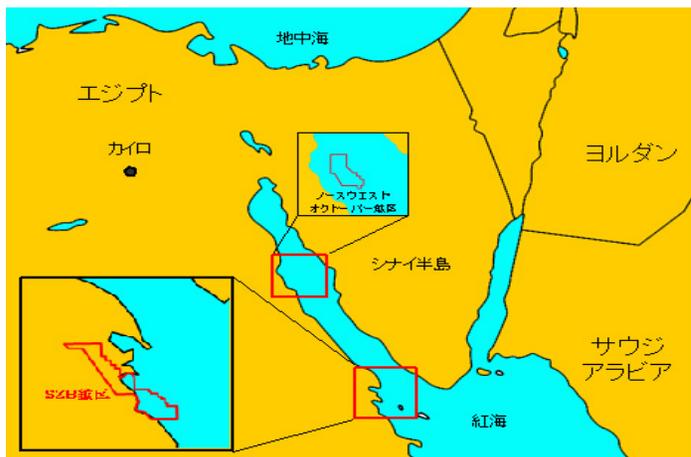
経営目標

- 経常利益200億円を確保(除在庫影響)
- 1,000億円規模の投資を展開
- DE レシオ0.8倍を指標に健全な財務体質を維持

事業計画 上流部門

新規プロジェクト事業化による収益基盤の強化

- カフジ関連事業の維持・継続
⇒ クウェイトとの技術サービス契約の更新の実現
- 既存原油生産事業(中国南シナ海・ノルウェー領北海)の維持・継続
⇒ 中国プロジェクトは09年2月の契約上の生産期限到来まで原油回収量を最大化
- エジプト 新規案件2鉱区の開発・生産
⇒ ノースウエスト・オクトーバー鉱区は開発計画策定に向け、エジプト石油公社と協議中
サウス・ゼイト・ベイ(SZB)鉱区は9月より試掘を開始
- その他新規上流案件の発掘・事業化



試掘中のSZB鉱区

事業計画 下流部門

一層のコスト競争力の強化と 需要構造の変化への柔軟な対応

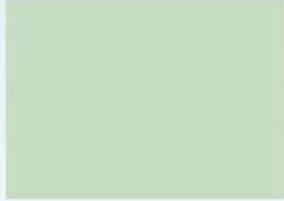
- 安全・安定操業のための既存設備の更新・増強
- 需要構造の変化に対応した製品の白油化・高付加価値化
 - ⇒ 第2流動接触分解装置(FCC)建設(08年3月完成予定)
 - ⇒ アスファルト熱分解装置(ユリカ装置)、減圧蒸留装置等の増強



建設中の第2FCC装置



ユリカ装置



この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

www.aochd.co.jp

お問合せ先:

IR・広報部 菊池、粕谷

